

平成16年6月2日

矢田川及び荒子川のマゴイからのコイヘルペスウイルス病のウイルスの検出について

本日、愛知県及び農林水産省から、矢田川（北区天神橋付近）及び荒子川（港区フェニックスブリッジ付近）のマゴイからコイヘルペスウイルス病ウイルス陽性を確認した、との発表がありましたのでお知らせします。

本市においても、市民の不安を解消し、今後の迅速な対応を図るため、適切な情報提供に努めますので、市民の皆様には以下の事項についてご協力をお願いいたします。

記

市民の皆様へのお願い

- (1) コイヘルペスウイルス病のまん延を防止するため、河川や池からコイを持ち出さないでください。
- (2) 当分の間、河川や池へのコイの放流は控えてください。
- (3) 河川や池でコイが死んでいることを発見した場合には、各区の保健所（夜間及び休日にあつては中保健所）に連絡してください。
- (4) 個人で飼育しているコイに異状がみられた場合は、愛知県水産試験場（0533-68-5196）にご相談ください。
- (5) 個人で飼育しているコイを廃棄される場合は、水路等には廃棄せず「可燃ごみ」としてごみ収集に出してください。
- (6) その他コイヘルペスウイルス病に関する詳しい問い合わせは、愛知県農林水産部水産課（052-954-6461）までお願いします。

【コイヘルペスウイルス病について（出典 農林水産省資料）】

- ・ コイ（マゴイとニシキゴイ）に特有の病気であり、コイ以外の魚や人には感染しません。
- ・ 感染魚は、行動緩慢や摂食不良になりますが、目立った外部症状はなく、コイの褪色やびらん等が見られます。